

協議等の記録				
協議名称		広報広聴会議（広聴部会）		協議場所 第1委員会室
				担当職員 田中
日 時	令和7年11月21日（金曜日）		開 議 午後 3時03分	
			閉 議 午後 4時00分	
出席委員	○林 大西 山木 大塚 <木村委員長> <三上>			
事務局	田中主事			

協議の結果

1 わがまちトークの総括について

(1) トーキョーコーヒー亀岡、Jun wa

○11月5日（水）に開催したトーキョーコーヒー亀岡及びJun waとのわがまちトークについて総括を行った。

<委員意見>

- ・少人数でのグループワーク形式が概ね好評であり、当初の狙いどおり話しやすい雰囲気が作れたのではないかと思う。
- ・いただいた意見の取り扱いについては、全議員に共有するにとどめることとしていたが、「すぐには無理でも意見交換したことが実現するように」との感想があるため、今後どのように反映していくのか再考するべきであると思う。
- ・コンポストなどが実施できるように働きかけていく必要がある。

(2) 旭町自治会

○11月7日（金）に開催した旭町自治会とのわがまちトークについて総括を行った。

<委員意見>

- ・幅広い年代の方々に参加いただき、市の関心ごとも様々だったので、色々な意見を聴取することができてよかったです。
- ・女性からは子育てに関する意見も聞くことができた。
- ・グループワーク形式が好評であったが、時間の都合もあってかテーマが多すぎたとの意見もあり、今後の開催に当たって参考にしていきたい。
- ・定期的に開催してほしいとの意見もあり、継続性が求められていると感じた。

- ・4つの各テーブルで出ていた意見が似ており、自分が住んでいるまちの課題やよいところについて共通認識が持てていると感じた。
- ・公共交通についての意見が多くかったようであった。
- ・議員が旭町のことをより知る機会にもなったかと思う。

(3) 令和8年亀岡市はたちの会実行委員会

○11月10日（月）に開催した令和8年亀岡市はたちの会実行委員会とのわがまちトークについて総括を行った。

<委員意見>

- ・若い世代からの率直な意見が聞けてよかったです。
- ・医療や公共交通など生活に関する分野について関心のある方も一定数いた。
- ・フランクな雰囲気で思ったより楽しく話しやすかったとの感想があり安堵しました。
- ・参加者全員が市議会だよりを読んだことがないと回答されており、若い世代に届くようSNSの活用や発信方法等に工夫が必要であると感じた。
- ・グループ編成に偏り（女性3人と男性1人）があり、ファシリテーターとして意見交換をスムーズに進めることに苦慮した。
- ・意見交換を通じて、参加者各々が亀岡の現状を理解していて自分の意見をしっかり持っていると感じた。

2 市議会だより（207号）広聴のページについて

○3ページには「今年度1年間の総括」を掲載する。

- ・今年度実施した広聴活動である「議場見学会」、「街頭インタビュー」、「わがまちトーク」と「今後の広聴活動」について掲載する。
- ・全て活動報告は済んでいるため、「活動の目的」、「どの程度できたのか」、「今後どのようにしていきたいのか」を掲載し、集約ページとする。
- ・わがまちトークでは、アイスブレイクを新たに設けたことが意見を引き出しやすくできた点がよかった反面、いただいた意見について考える場をどのように持つのかが課題であるということ。街頭インタビューでは、年度を通して一度しか実施できなかったため、もっと気軽に出てもよかつたのではないかということ。子ども議場見学会では、子どもは実際の体験をもって感じて成長していくものであるため、プラスアップして今後も継続して実施できるようにしていくこと。といったことを掲載してはどうか。
- ・各広聴部会委員からそれぞれのイベントについての振り返りを提出していただき、「広聴部会委員の一言」としてまとめてよいのでは。

- 「わがまちトークの活動報告」については、4、5ページで特集される予定であるが、12月議会での議論内容により掲載内容も変動するため臨機応変に対応する。

3 今後の活動について

- 街頭インタビューをもっと気軽に実施し、広聴部会としてより多くの意見を聴取できるように努める。
- 中学校、高校などと連携を取り、学生との意見交換の場を設ける。
- J R 亀岡駅構内ののどかめロードでの活動も検討していく。

4 その他

<今後の日程>

- ・12月22日（月）本会議終了後